

ふるさと 通信員だより

vol.224

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域の話を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています（活動はボランティアでお願いしています）。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係（内線216）にご連絡ください。



新泉町内会（河村正司会長、53戸）は令和5年度の定期総会と創立60周年のお祝いを新泉会館で賑やかに開催しました。総会では、5世帯が新たに仲間入りしたことが報告されたほか、年間の事業計画（花壇整備、資源回収、焼き肉交流）や予算、役員改選などが決議されました。

同町内会は、昭和38年1月1日、泉町内会から分かれ、故栗田孝一さんが初代会長に就任して、40数戸で新泉町内会として設立されました。

第21代目の河村会長が「住民同士のつながりで大きな節目を迎えることができました」とあいさつ。全戸に記念品を配り、さらなる発展を誓いました。



たかだ てつこ
高田徹子 通信員

創立60周年の新泉町内会



廣川和暉さん（26・雄飛が丘仲区）は走るのが大好きです。マラソンを始めて10年になり、ほぼ毎日、練習をしているそうです。

昨年10月のフードバレーとかちマラソンでは男子高校生以上く34歳のハーフマラソン部門で1時間13分8秒で7位に入賞しました。

今後の目標はハーフマラソンで1時間10分を切り、フルマラソンでは2時間30分を切りたいそうです。

廣川さんは、マラソンについて「マラソンはかけがえないもので、走ることで仕事も頑張れる」と話してくれました。



いしだ ひろよ
石田尚世 通信員

マラソンがライフワーク